

グリーンアジア国際戦略総合特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年3月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値  $(3.5+3.5)/2=3.5$

3.5

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	評価指標(1) 当地域が貢献する環境を軸とした産業の年間売上高	70%	3
2	評価指標(2) 特区に係る支援措置を活用して設備投資を行った企業数	85%	4

評価指標毎の進捗の評価の平均値  $(5 \times 0 + 4 \times 1 + 3 \times 1 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 2 = 3.5$

3.5

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。  
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 数値目標○は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

3.5

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値  $(4+4+4.3)/3=4.1$

4.1

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

4.0

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

4.0

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.3

### Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.2

- ・半導体不足や海外部品調達難などの外部要因による影響を受けつつも、国や地域独自の支援措置を積極的に活用して企業の設備投資を推進し、新規雇用創出にもつなげ、アジアに向けたグリーンイノベーション拠点形成に積極的に取り組んでいる。
- ・動脈、静脈両方にわたるグリーンイノベーションを主導する産業拠点形成に取り組んでいる特徴を活かすため、更なるサプライチェーン強靱化への取組に期待したい。
- ・COVID-19の影響が続いている状況の中では、一定の成果も得られているように思われる。
- ・ある程度の進捗は見られる。特に地域独自の取組は積極的と言える。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.2

### 総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算  $(3.5+4.1+4.2 \times 2) / 4 = 4$

4.0

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。